

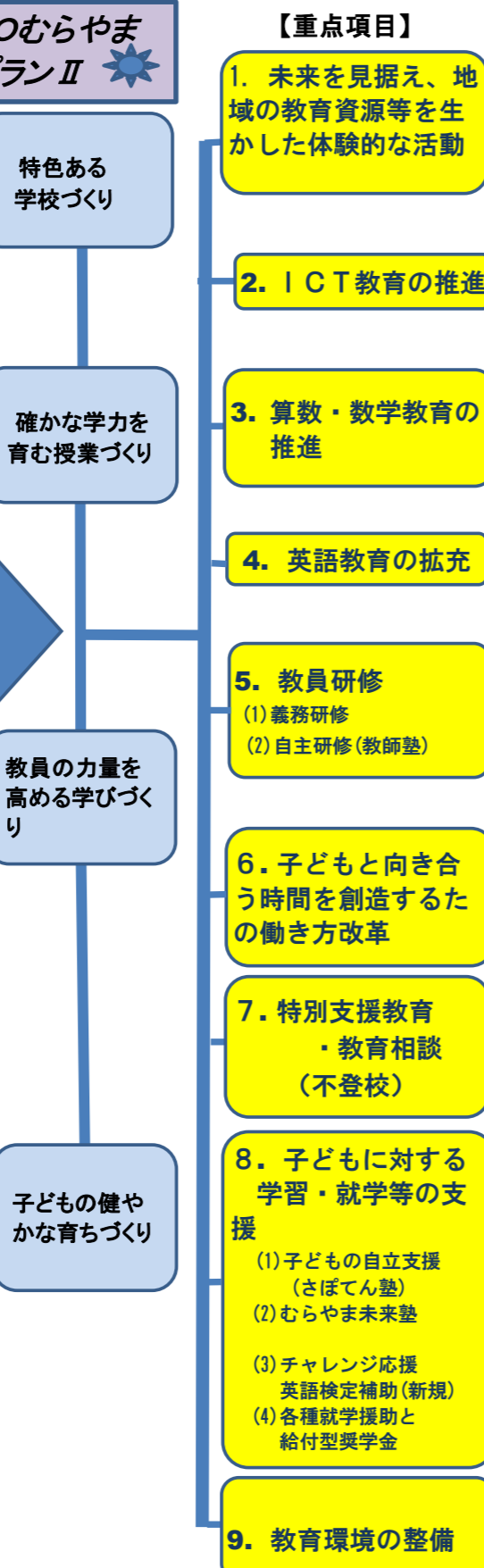
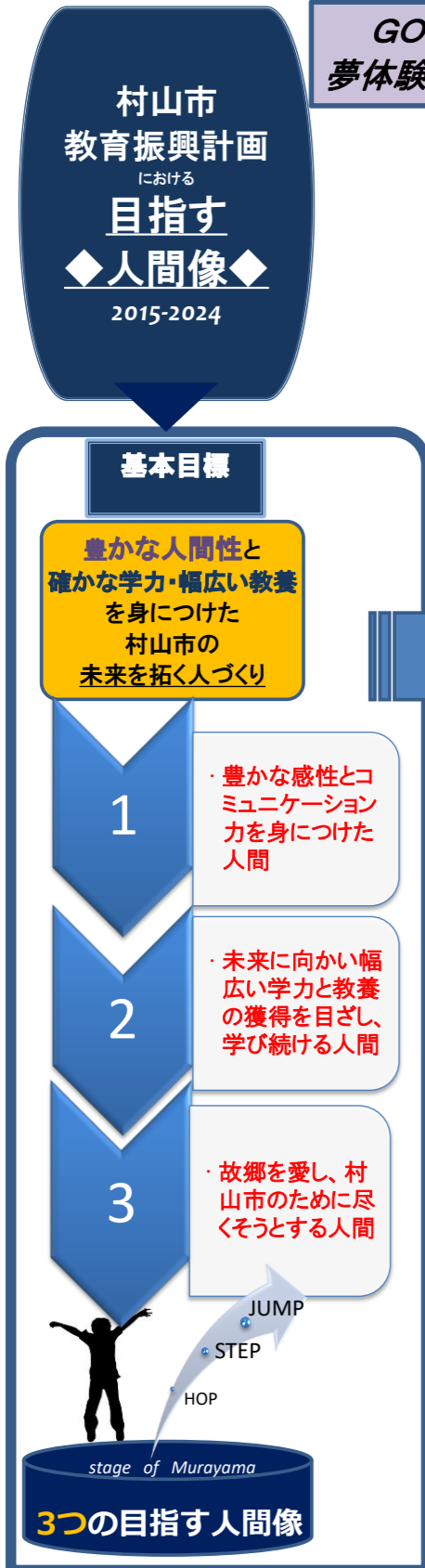
◎ 豊かな人間性と確かな学力、幅広い教養を身に付けた、村山市の未来を拓く人づくり

【キーワード】 確かな学力・生きる力・豊かな感性・コミュニケーション力・五感の活用

● R3年度の実施結果 ●

成果○と課題 ▲

☆新年度の具体的方策



<p>○「感性を育む活動」や「コミュニケーション力を育む活動」は、様々な工夫により取り組むことができた。</p> <p>▲コロナ感染防止のため、社会施設、商店街等、人々との交流による豊かな体験・学びが思うように展開できなかった。</p>
<p>○ICT教育推進委員会の運営によって、各学校における学習者用タブレットの授業での活用が図られ、各校種、各教科における多様な活用実践が展開された。</p> <p>▲教員及び児童生徒の操作に関わる知識・技能の向上を、いかに幅広く図っていくことができるかが課題となった。</p>
<p>○各種調査やアンケート等の結果から、児童生徒の学力及び学習状況の回復、並びに、先生方の授業づくりへの意識の向上が見られた。</p> <p>▲領域・学年・校種を超えた「数学的な見方・考え方」を意識した授業づくり及び提案授業の参観者数が伸び悩んでいる。</p>
<p>○小学校で魅力ある授業づくりが進み、先生方の指導力の向上が見られる。中学校では言語活動を中心に据えた計画と実践が見られ、生徒の学力の向上が図られた。</p> <p>▲小学校と中学校の言語活動につながりが乏しく、系統性が薄い。</p>
<p>(1)○初任者研修、中堅教諭等資質向上研修ともに、研修の目的を明確化させるため、テーマを設定して実施した。▲若手教員、ミドルリーダー育成の目標に沿った研修の実施が必要である。</p> <p>(2)○国・算・特支を柱に講座を継続開設した。教科の見方・考え方及び特支の原理・原則が浸透し参加者の満足度も90%を超えている。</p> <p>▲(中)部活動との兼ね合い、増加する若手教員育成・ICT等実践力育成が今後の課題である。</p>
<p>○週時程の工夫など、教育課程全体を俯瞰的に見て、思い切った取組みが見られた。</p> <p>▲仕事の効率化や放課後にゆとりをつくるための様々な工夫がなされたが、子どもに力をつけるための時間として機能しているか、更に検討が必要である。</p>
<p>○年間2回実施の教育支援委員会の実施によって、一人一人に応じた教育支援を行うことができた。また、切れ目ない支援のための連携体制整備事業に基づき、適切な就学指導を行うことができた。</p> <p>▲巡回相談事業等を活用し、各学校の現状に応じて支援体制の環境づくりに取り組むことが必要である。</p> <p>▲様々な理由により登校できない児童生徒に対し、弾力的な教育支援センターの運用が求められている。</p>
<p>(1)○支援員の確保や適正配置により、小・中学生別の支援や学年に応じたマンツーマン体制でのきめ細かな支援が充実し、塾生の高い満足度につながった。</p> <p>▲塾生の「登録率」(30%)や「出席率」(40%)が目標に達しなかった。</p> <p>(2)○英・数を中心に少し難しい問題に質問しながら挑戦する、ねらいに沿った学習態度が多くなった。</p> <p>▲教育課程の変更等で継続実施ができず、ねらいが浸透しきれていない。漢字練習等ドリル学習からの脱皮も必要である。</p> <p>(3)【新規】</p> <p>(4)○「がんばる高校生応援金」「夢応援奨学金」ともに受給要件を緩和し、より利用しやすい制度とした。▲対象世帯へのより確実な事業の周知</p>
<p>施設の良好な状態を維持し、よりよい教育環境を確保するため次の事業を実施した。</p> <p>①楯岡中学校屋内運動場屋根外壁等長寿命化改修工事</p> <p>②富本小トイレ改修工事</p>

<p>・未来スクール構想会議を実施し、年度末に学校像を提示する。</p> <p>・特色ある教育活動を充実させるため、予算の追加措置を行う。</p> <p>・ウィズコロナを想定した年間活動計画による新しい学校教育活動の創造する。</p> <p>・Zoomなど、ICT機器を活用した交流学習・体験学習を工夫する。</p>
<p>・各学校において、継続的に授業実践研究を行う。</p> <p>・協働的な学びを活性化させるために、授業支援システムの活用を定着させる。</p> <p>・学校、家庭における活用の幅を広げるために、eライブラリ等のWeb教材の環境を整備する。</p> <p>・教員及び児童生徒の操作に関わる知識・技能のCANDOリストを作成し提示する。</p> <p>・日常的に家庭でタブレットPCを使った学習ができるようにする。</p> <p>・発達段階に応じて情報モラルの指導を確実にを行う。</p> <p>・各校が責任をもってホームページの充実を図る。</p>
<p>・各種調査等の結果を踏まえて定着確認調査を更新し、年度末振り返り指導も充実させる。</p> <p>・保護者送迎ができない「わくわく数学講座」参加者へ、輸送手段(スクールバス運行)を提供する。</p> <p>・小学校指導資料(CD版)を提供し、「楽しく力が付く授業づくり」の主体的な取り組みを進める。</p> <p>・中学校ブレ授業システムを、「小学校でどう教えているか」の視点も盛り込んで充実させる。</p> <p>・教科書活用研修会、教師塾、市学力向上研等への支援を通して、先生方の指導力向上を図る。</p>
<p>・小中合同の授業研究会(年12回)及び各種調査後の研修会を通して、さらに4技能を伸ばさせるための課題と有効な指導法を共有し、教員の指導力向上を図っていく。</p> <p>・グローバルキッズ講座では、プレゼンテーションやディベートを通して、英語が好きな生徒の資質・能力を更に高め、他生徒の範とする。</p> <p>・ALT3名体制を整え、幼児期及び小学1・2年生時の英語教育の充実を図る。【新規】</p>
<p>(1)研修の目的を明確化させ、地域の魅力や素材を活用したテーマや内容を設定する。</p> <p>(2)市教委主催授業研と教師塾を統合する(英語・ICT)。ICT理論と実践活用講座を併設しGIGAスクール構想の浸透を図る。</p> <p>全国学調を活用し実践に活かす講座を新設する(国語)。</p> <p>若手教員育成を意識した講座(学級づくり)を開設する。</p>
<p>・子どもの活動する姿と、数値エビデンスから、子どもに力をつけることに十分結び付いているのか、学校組織全体で議論し、効果検証を行う。</p> <p>・職員同士の温かなコミュニケーションを通して、ライフステージに合った働き方を推奨し、認め合えるようにする。</p>
<p>・教育支援委員会や幼小小及び小中の連絡を通して、支援・指導計画の中に個に応じた教育支援策を具体的に示し、進級・進学の際、確実に必要な情報が引き継がれるようにする。</p> <p>・支援を必要とする児童や医療的ケア児童の適切な就学を図れるようにするため、関連課と連携し、該当者及びその保護者との十分なコミュニケーションを図り適切に対処する。</p> <p>・巡回相談事業等の活用について、十分な相談、情報提供を実施する。</p> <p>・教育支援センターの開所時間を午後拡大し、多くの児童生徒の学びの場を確保する。</p>
<p>(1)学校や関係機関と積極的に連携し「登録率」や「出席率」の向上に努める。特に、各校の「家庭訪問」や通知表の配付時に個別の呼びかけ勧誘を依頼する。また、さぼてん塾運営協議会を機能させ、マンツーマン指導体制の充実や送迎システムの確立、体験学習会の拡充を図る。</p> <p>(2)学校に未来塾学習状況を報告し、生徒が記述式の問題や発展的な問題に質問しながら取り組めるようにする。必要時は Chrome Book を活用するなど自主学習の質を高める。</p> <p>(3)受験者の拡大と合格者数のアップを目指すため、授業や未来塾等を通して、生徒の学習を支援する機会を増やす。</p> <p>(4)今後も国の動向を注視し、保護者の意見を聞きながら必要な改善を加え実施していく。学校と連携した対象者への情報提供や直接案内を行い、制度の周知徹底を図る。</p>
<p>施設の良好な状態を維持し、よりよい教育環境を確保するため次の事業を実施する。</p> <p>①楯岡中学校特別教室冷房設備設置工事</p> <p>②楯岡中学校自動火災報知設備改修工事(経年劣化による改修)</p> <p>③西郷小学校・戸沢小学校トイレ改修工事(トイレの洋式化)</p>